

2022年4月～

MCIスクリーニング検査が 新検査に切り替わります！

※2022年4月以降現行検査は廃止となります

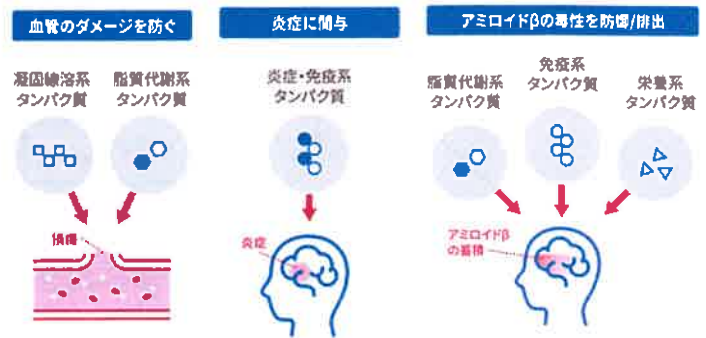
新検査名

MCIスクリーニング検査プラス



MCIスクリーニング検査プラスとは

アミロイドβの蓄積を阻害する3つのたんぱく質に加え、アミロイドβが蓄積する前のリスクとなる**血管の損傷・炎症に関連するタンパク質**も測定項目として新たに加えました。これにより、アミロイドβが溜まり始める前の段階から、リスクを測定できるようになりました。



変更点

- 1 測定項目** これまで「栄養・脂質代謝・免疫」にかかわるタンパク質を見ていましたが測定項目が増え「栄養・脂質代謝・免疫・凝固線溶」の4カテゴリーに変更となりました
- 2 検査結果報告書** 測定項目が追加され、総合評価とは別に9つの測定項目を4つのカテゴリーに分類し、それぞれのカテゴリーのリスク値を評価しています
- 3 検体管理**

採血管	: 生化学用検査容器	➔	「EDTA-2Na容器」
検体	: 「血清」	➔	「血漿」
保管	: 「全血常温30分以内」	➔	「全血常温または全血冷蔵24時間」
- 4 検査推奨年齢** 「50歳以上」→「40代以上」に推奨年齢を引き下げ

POINT

- ✓ アミロイドβ蓄積前の「**血管の損傷・炎症**」に関わるタンパク質を測定することから、より自身の生活習慣に関連したリスク評価に！
- ✓ また、「**血管の損傷・炎症**」を測定することで以前より早期の段階からリスクを評価し、予防につなげることが可能に！
- ✓ 「**常温で24時間安定**」するので、訪問診療・巡回健診でも実施可能に！



お問合せ

- 検体の取り扱い、検査価格についてはお取引されている臨床検査会社 担当者までお問合せください。
- 検査の詳細や説明会、販促物のご要望はMCBIまでお問合せください。
TEL : 03-5772-1486

新：検査結果報告書

① 算出されたMCIリスク値をもとに A~Dの4段階で評価いたします

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

リスク評価

あなたのMCIリスク値 **1.32**

A B C D

② 過去2回分のリスク値も矢印で表示されるようになりました ※現行検査で受診された分は反映されません

低	A	0.00~0.50	自身の生活習慣を改善し、認知症の発症を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
中	B	0.51~1.00	認知症の発症を予防的に管理づけることで、MCIのリスクを抑えることができます。予防は早く取り掛かるほど効果的なので、引き続き予防に努めましょう。
高	C	1.01~1.50	【今の頃の方】 現在の生活習慣を改善すべし、予防に努め込み、認知症の発症を遅くすることが大切です。 【高齢の方】 生活習慣を改善し、遅くに予防に努め込みましょう。おそれがある方は専門家に相談しましょう。
	D	1.51~2.00	【今の頃の方】 このままの生活習慣が続くと将来のMCIのリスクが高まります。生活習慣を改善し、予防に努め込みましょう。 【高齢の方】 専門医による診断を待たず、適切な予防を受けることをおすすめします。

※高齢の方は一部項目に追加の質問があります。

当施設ではアルツハイマー型認知症の発症に関わるタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを提示しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

5H	江藤	認知力	認知症	認知行動	高齢・高齢者	認知検査
0.0 ~ 3.2	3.3 ~ 4.5	4.7 ~ 10.0	4.9	3.2	3.2	3.1

③ 次回受診の目安日を記載 ※受診1年後を目安として記載しています

④ 各カテゴリーのリスクレベル評価 各項目の個別測定値は廃止されます

次回は 2022年の 6月頃を目安に検査を受けましょう。

デザインも
リニューアルし
分かりやすい
内容となりました！

※予防マニュアル
(冊子)は変わらず
ついています！



新検査の紹介動画・紹介サイト

動画



「MCIスクリーニング検査プラス」
について、変更点やリニ
ューアルするに至った経
緯等、詳しくご説明させ
ていただいております。



<https://youtu.be/Km160IKhuqw>

新検査の魅力や検査詳細について
紹介したWEBサイトも新たに作成！
動画と併せて是非ご覧ください



<https://mci-plus.com/>

